



令和7年度
福島小学校だより

ふくしま

第2号 7月17日
八女市立福島小学校
校長 郷田 純一

学校経営四半期報告：夏休みまでの取組を振り返って

- スポーツフェスタ：スローガン達成！年々成長しています。最後まで走る姿、思い切り自分を表現する姿。高学年がいいと、低中学年の子どもたちもすばらしくなりますね！
- あいさつの取組：各学年の子どもたちが「あいさつ大使」となり、日替わりで他学年児童にあいさつ。一年生も渡り廊下で元気にあいさつをしていました。あいさつは基本的な生活習慣ですが個人差があります。夏休みにお子様のあいさつを観察してください。
- 廊下を静かに歩く取組：昨年度に比べ、廊下を走る児童が減っています。職員も意識して声かけをしています。子どもたちも意識しているようです。ただ、これもあいさつと同様に個人差があります。安全確保は生活の基本。今後も引き続き指導していきます。

【取組のまとめ】

自分の考えを書く取組など学習の取組もありましたが、目標値をほぼ達成することができました。先生と児童の評価がずれている項目もあり、次の成長への課題として取り組みます。

充実した夏休みに：子どもの変化を見逃さない！

(1) 規則正しい生活

学校に来ているときと同じ生活のリズムを維持することで、毎日の生活が有意義なものとなります。生活のリズムを維持して健康な体しておくことは全ての活動の基本です。

(2) 事故の防止

今年も小中学生が水難事故に遭うという不幸なニュースをよく聞きます。様々な体験ができることは夏休みの特長ですが、事故に遭っては意味がありません。矢部川源流公園「ふれあい河川プール」のような、河川に人の手が加わった施設は別として、八女市の河川で遊泳が許可されているところはありません。

また、夏季休業中は交友関係が広がり、時に、望ましくない交友関係に触れる機会が出てくるとも考えられます。「高価な物をほしがる」「所持金が増える」「乱暴な言葉が目立つ」「睡眠時間が短くなる」「家族や友人との会話を避ける」などの注意すべき行動の変化には目を光らせましょう。不審者情報もたまに寄せられ警察とともに対応しています。危機は意外と近くにいます。

(3) 家庭学習の充実

夏休みの課題をご存じでしょうか？各学年のお便り等で連絡していますので、ご確認ください。くれぐれも最終日にぎりぎり間に合わせることをしないよう計画的に進めてください。

また、夏休みには時間が沢山取れますので、読書や創作活動にも取り組んでほしいと思います。作品応募の募集の一覧表も配布しています。たくさんチャレンジしてほしいと思います。

学校に遊びに来てお菓子や飲み物のゴミを持ち帰らない子ども、個人の敷地内に無断で立ち入る子どもがいて指導しました。「公私の区別」は人としての基本。特にゴミの持ち帰りは日本サポーターが世界に示した美德です。お子さんは「公私の区別」がついていますか？

7/11 地区懇談会を開催：3カ所をPTAから市へ要望

7月11日（金）に区長や見守り隊の皆さんに来ていただき、福島小校区の危険箇所についての情報交換会が行われました。「自転車に乗る際にヘルメットをかぶっていない」「稲富の法務局前に横断歩道の設置を！」など、貴重な情報や意見の交換ができました。

なお、要望については、PTAから八女市に対して書類にて提出する予定です。また、改正道路交通法の施行により、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となっています。